

清洲地区

人口	男	1,223人	女	1,231人	計	2,454人	世帯数	874世帯
----	---	--------	---	--------	---	--------	-----	-------

※人口、世帯数は令和4年1月1日時点

《事業概要【分野】と主な支出内容》

① 安心安全なまちづくり事業【安全安心】

防災・防犯や交通安全等の危機管理に対する地域全体の意識を向上するため、啓発活動や連携体制の整備をする。また、様々な危険要素を軽減するため、環境整備や情報交換を行う。

通学路への LED 防犯灯設置(12基)、防犯カメラ設置(3基)、交通安全啓発看板設置、カーブミラー設置、青色回転灯購入、草刈・支障木伐採等の消耗品購入、毛布・救命胴衣・発電機等
防災資機材購入、久野防災倉庫の嵩上げ工事

② 環境にやさしいまちづくり事業【環境】

花いっぱい運動等の美化活動により癒し景観の創出と地域ぐるみのリサイクル活動や啓発活動を展開し、人と物を大切に作る心の醸成と地域に愛着と誇りをもった人材を育む。

資源物保管庫設置、エコバッグ作成、イルミネーション購入、花苗購入

③ 生き生きふれあいサロン事業【保健福祉】

高齢者が気軽に集える範囲に利用しやすいサロンを整備し、孤独感の解消や身体機能の維持・向上を図る。

地区公民館改修(バリアフリー化)、座椅子・テレビ等備品購入、運営に係る消耗品(エプロン、感染対策用品等)購入

《収支決算》

【収入(円)】

費目	H29	H30	H31/R1	R2	R3	計
地域の夢補助金	—	5,500,800	836,689	1,360,000	1,954,229	9,651,718
その他補助金	—	0	0	0	0	0
自己資金	—	0	290,055	290,278	28,030	608,363
計	—	5,500,800	1,126,744	1,650,278	1,982,259	10,260,081

【支出(円)】

事業No	H29	H30	H31/R1	R2	R3	計
事業①	—	2,147,800	463,772	940,025	1,653,672	5,205,269
事業②	—	765,000	573,935	658,349	275,347	2,272,631
事業③	—	2,588,000	89,037	51,904	53,240	2,782,181
計	—	5,500,800	1,126,744	1,650,278	1,982,259	10,260,081

《事業への取り組みを振り返って》

清洲地区では、平成30年度から令和3年度にかけて、3つの事業に取り組みました。

① 安全安心なまちづくり事業

この事業は、防災・防犯・交通安全対策に取り組むもので、地域の安全安心な環境づくりと住民の意識向上を目的としたものです。

【通学路へ防犯灯新設】

栗野中学校の通学路となっている久野地区の松葉川沿いに、LED ソーラー防犯灯を設置しました。以前は街灯がなく、中学生の下校時には真っ暗になってしまうこともあり危険なエリアでしたが、この事業により通学路を明るく照らすことができました。



啓発看板設置の様子

【啓発看板設置】

地区内の車通りが多い通学路などに交通安全や防犯に関する啓発看板の設置をしました。



啓発看板

【防犯カメラ設置】

地区内の3箇所に防犯カメラを設置しました。

【道路沿い草刈り・支障木伐採】

各自治会単位で、道路や河川敷の草刈りや支障木の伐採、災害ごみの撤去等を行いました。



青パトで子どもたちの見守り

【自主防犯パトロール活動】

青色回転灯を装備した自主防犯パトロール隊を組織し、登下校時などに子どもたちの見守り活動をしています。

【安全対策連絡会議】

以前は各学校単位で行っていた児童・生徒の安全対策連絡会議を、情報共有のために清洲地区全体で行っています。夏・冬の年2回、学校の長期休業前に、消防団や交通安全協会等の清洲地区各種団体と、小学校・中学校が連携し、意見交換の場を設けています。様々な立場の人たちが集まることにより、より活発な意見交換ができるようになりました。

【防災資機材購入・点検】

各自治会(自主防災会)の防災倉庫に、発電機・毛布・救命胴衣等、防災機材を配置し、各自治会において毎年の点検など防災組織づくりを進めています。また、令和元年台風19号で浸水被害を受けた久野防災倉庫について、同規模の災害に耐えられるよう



防災倉庫の嵩上げ

嵩上げ工事を行いました。

当初の計画では、「防災マップの作成」・「避難訓練の実施」を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により事業の実施を見合わせました。令和3年度で地域の夢実現事業は終了しますが、来年度以降の事業で実施できるよう、清洲地区福祉活動推進協議会と連携して計画をしています。

② 環境にやさしいまちづくり事業

地域の環境美化や景観整備、リサイクル運動の推進を図る事業です。

【地域リサイクル運動】

児童・生徒数の減少により各学校単位でのリサイクル運動(資源物回収)が難しくなってきたため、地域全体で協力してリサイクル運動を行いました。(令和2, 3年度は新型コロナウイルスのため合同での運動は中止)

【資源物保管庫の設置】

アルミ缶・新聞紙および段ボールを回収する資源物保管庫を深程交差点前に設置しました。24時間いつでも・人との接触がなく資源物を出せるため、コロナ禍においても積極的に運用を続けています。売却益は、地域リサイクル運動と同様に地域の小学校 PTA に寄付しています。



資源物保管庫の設置

【オリジナルエコバッグ作成】

プラスチックごみの削減・レジ袋の辞退を促進するため、令和元・2年にオリジナルエコバッグを作成し、地域の希望者に頒布しました。エコバッグのデザインは、地域の小中学生から募集しました。



(左)令和元年度 (右)令和2年度
いずれも栗野中学校生徒のデザイン

【花と緑とイルミネーション】

清洲地区コミュニティ推進協議会が以前から取り組んでいる、地域に癒しの景観を創出する環境美化事業です。

春・秋の2回、花壇に花を植栽し、冬季はイルミネーションを設置しています。令和元年台風19号の被害により従来使用していた会場が使用できなくなり、残念ながら令和元年度は中止を余儀なくされました。

しかしながら、令和2年11月、会場を清洲コミュニティセンター周辺に変更し、2年ぶりに事業を再開することができました。新たな花壇の設置にあたっては、地域の企業さんから木材や土を提供いただきました。さらに、花壇の整備やイルミネーションの設営等、みんなで協力して作業を進めました。現在の会場は保育園や福祉施設が近く、地域住民が集いやすい場所です。想定外の会場変更で

はありましたが、より多くの人たちに景観を楽しんでもらえるようになりました。この事業は清洲地区コミュニティ推進協議会の大きな事業のひとつとして、これからも継続していきたいと考えています。



花壇の整備とイルミネーション

③ 生き生きふれあいサロン事業

この事業は、高齢者が地域で心身ともに健康で生きがいをもって、支え合いながら暮らせる地域づくりを推進するものです。

【各地区の公民館改修・ほっとサロン開設】

高齢者が気軽に集える範囲に利用しやすいサロンを整備するため、各地区の公民館の改修(手すり設置・トイレリフォーム等)・備品(テレビ、座椅子等)の整備を行いました。新型コロナウイルスの流行によって集まっての活動が制限されていますが、介護予防運動の資料を配布するなど、自宅でそれぞれができる活動をしています。(写真は平成30年～令和元年度に撮影したものです)



公民館改修(手すり設置)



ほっとサロン開設

《おわりに》

この4年間、災害や新型コロナウイルスで事業計画の大きな見直しをせざるを得ませんでした。令和元年台風19号では地区が大きな被害を受け、当初の事業を行うことが難しくなりました。さらに、令和2年からは新型コロナウイルスの流行。住民同士が交流し、コミュニティ組織活動を推進することがこの清洲地区コミュニティ推進協議会の活動目的であります。コロナ禍において、「人との交流を避けること」が求められるようになりました。人々の生活は一変し、事業を実施する以前の問題として、準備や打合せの会議を開くことも困難な時期もありました。しかしながら、各事業において、地域住民の生活に関連する新たな環境を生み出すことができました。これからも、みんなで協力してこの清洲地区を盛り上げていきたいと思っています。